

-Safety News-



発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 石川 亨
編集責任者: 村上 良智

無事故で 家族のもとへ笑顔で帰ろう！！

日頃より、私たち東北情報インフラユニオンの活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。今年度も残すところわずかとなりました。私たちの働く通建業界においては、重症・軽傷を含む人身事故が後を絶たない状況にある中で、私たちの作業現場からは事故を発生させないとの気持ちで日々安全労働確立に向け作業に従事して頂いていることと思います。しかしながら、発生している事故の多くが過去の事故事例が活かされず、再発防止策が守られていないことによる事故が多発している状況にあります。

現場作業においては、作業環境にあった安全対策を実施することは勿論のこと、過去に発生した事故事例を思い出し、危険ポイントを再確認し作業班全体で共有していただきたいと思います。

全国的に令和1年は54件の人身事故が発生し、そのうち通信建設業界においては、29件の人身事故が発生しています。今年度発生した人身事故は下記の内容となっております。自社で発生した事故は勿論のこと他社で発生した事故についても今一度ご確認頂き、事故を決して「対岸の火事」とすることなく、個々人が「自分の職場からは事故は発生させない」との強い気持ちで作業に従事していただき、日々皆さんの帰りを待っている家族のもとへ「笑顔」で帰りましょう。

(人身事故の発生件数は、令和2年3月19日現在)

＜令和1年度発生通建業界における人身事故＞

発生日	発生場所	発 生 事 由
H31.4.15	宮城県	クレーンフック部の金物に指が挟まれ負傷
H31.4.24	栃木県	チェーンソーの刃先が滑り左手親指と人差し指の間に誤って接触し負傷
H31.5.20	新潟県	パケット車のパケット部(作業床)に大型トラックがぶつかり、そのはずみでパケット車が横転し、道路脇に作業員が転落し死亡
R1.6.17	福島県	光屋外線が垂れ下がり、通行しようとした第三者が引っかかり転倒し負傷
R1.6.24	神奈川県	基地局出入口の段差に躓き転倒し負傷
R1.6.30	埼玉県	通行してきたバイクの右ミラーが地上に降ろしていた光ドロップケーブルに接触し転倒し負傷
R1.7.10	新潟県	バランスを崩し脚立3段目から転倒し負傷
R1.7.26	神奈川県	移動梯子より降りる際に足を踏み外して転倒し負傷
R1.8.7	山形県	鉄塔から墜落し負傷
R1.9.3	愛媛県	タンクローリーが交通専門誘導員の制止を無視し工事場所の規制車両に衝突し、衝撃により移動した規制車両に作業員が跳ね飛ばされ死亡
R1.9.5	福島県	梯子を動かした際、梯子ロックが外れ下りてきた梯子に左手小指が巻込まれ負傷
R1.9.6	福岡県	下部支線が抜け上がり、シャベル先端にあたったことで、作業員の顔面に柄が直撃し負傷
R1.9.25	埼玉県	塀の上で作業をしていたところバランスを崩し、お客様建物と塀の間に転倒し負傷
R1.10.3	東京都	ピットの蓋(鉄製)を閉じる際、蓋の突起物で左手薬指を負傷
R1.10.9	大阪府	柱の上部で本ロープを掛けようとした際、バランスを崩し転落、ベルブロックにより地上約3.5mで一瞬、宙吊りになった後、ベルブロックの金具が外れて地上に転落
R1.10.18	岩手県	ケーブルの外被切裂きを実施の際、専用の切裂き工具を使用せずカッターを使用し、不注意により左手親指付根を負傷
R1.10.21	北海道	穴建車が草地でスタックしたためユニック車で牽引準備中、作業員が地面に足を取られ転倒し、張力のかかった牽引ワイヤーにあたり負傷
R1.10.25	福島県	片側通行の工事中に車両が止まらず交通誘導員が止めようとして、車両が左腕に接触、転倒し負傷
R1.11.7	熊本県	三段梯子を使用中、梯子のスライド式の上段部分が滑り落ち、小指を挟んで負傷
R1.11.30	東京都	足場作業において、ロープの端部が遊歩道を走行していた自転車の前に垂れ下がり、急ブレーキを掛けたことでバランスを崩して転倒し負傷
R1.12.3	愛知県	圧送管のシャッターバルブを閉めた際、何らかの原因でバルブの一部が破損し、部品の一部が作業員にあたり負傷
R1.12.9	岡山県	チェーンソーを用いて伐採作業を実施していたところ、伐採した枝が落下しそうになったため、左手で支えようとした際、右手に持っていたチェーンソーが左腕にあたり負傷
R1.12.9	東京都	作業開始前に保安柵を設置中、走行してきた車両のドアミラー部と接触して転倒し負傷
R1.12.23	青森県	吊り足場設置のためボルト固定作業中に脚立から転落し負傷
R2.1.28	埼玉県	片側交互通行規制のため交通誘導員が走行車両に停止指示を行ったが、指示に気づかず誘導員に接触し負傷
R2.2.7	岩手県	金物が作業者の左人差し指にあたり負傷
R2.3.4	愛知県	鉄板からフックが外れ、落下して運送会社社員の左足甲へ落下し負傷
R2.3.10	愛知県	アースオーガーが所定箇所に格納されず固定するワイヤーが切れ近くにいた作業員に接触し負傷
R2.3.19	千葉県	撤去ケーブル端末が作業員の左目にあたり負傷



“台風 15・19 号災害復旧に携わった方々の声”



近年、大型台風や記録的な豪雨等により各地で甚大な被害が発生しています。

そのような中で、昨年は台風 15 号・台風 19 号等の暴風・大雨等により通信設備に大きな被害を受けたことから、一日も早い復旧に向け東北で働く我々の仲間が災害復旧工事に従事しましたのでご紹介いたします。

氏 名：鹿野 秀虎さん

会 社 名：東部電話工事

場 所：千葉県 銚子

作業内容：故障修理業務

感 想：



初めての災害復旧支援で不安と緊張がある中で、1 回目の支援に携わった先輩方の話を聞くと、設備は倒木、電柱折損、ケーブル断線、引込線断線等が沢山あり、家屋の屋根は飛ばされ、電気が止まっているおり、道路は浸水している所があるとの話でした。

そのような中で、現地の状況は、設備の倒木、電柱折損、ケーブル断線等はある程度復旧はしているものの、引込線断線などについては、手つかずの状況となっており、故障修理の件数が何百件あることに驚き、改めて甚大な被害だと思いました。故障修理でお客様宅に向かうと電話、インターネットが何日も何週間も使えなく困っている事もあり一件でも多く復旧できる様に作業を実施しました。作業が終わるとお客様がすごく喜んで、感謝の言葉を頂き嬉しく思いました。

今回の復旧作業に携わり沢山の経験が出来ました。今回の経験を活かし仕事を精一杯取り組みたいと思います。

氏 名：鈴木 宥晃さん

会 社 名：大和電設工業

場 所：福島県 いわき市

作業内容：メタル・光接続作業

感 想：



台風 19 号の被害で福島県いわき市へ災害復旧の支援班として行きました。

台風による川の氾濫、それに伴う浸水で、道路脇や民家の周辺には土砂が積み上げられ、使えなくなった家具を外に出している家もあり、台風による被害の深刻さを感じました。

復旧作業では、主に浸水による被害で家屋側の工事が多く、訪問先のお客様が避難している家もあり、連絡がつかず作業できないこともありました。

作業終了後のお客様から感謝の言葉をいただき時、1 件でも多く復旧できるように尽力していきたいと思いました。

そんな大変な状況の中で、他社の方々と知合い、思うように作業が進まない時にはお互いに助け合い、一体となって災害復旧の作業に取り組んだことは大きな経験になりました。

今後また災害復旧があった際には、この経験を活かし対応していきたいです。

氏 名：菊地 利和さん

会 社 名：アスカ通信工事

場 所：福島県中道理北部

作業内容：故障修理業務

感 想：



台風 19 号通過翌日より現場確認を含め現在に至るまでに通常のサ総アクセス工事業務の合間で復旧工事に従事してまいりました。

初めに現場点検に被災地へ向かった時には、9 年前の東日本大震災を思い出ししてしまうほどの悲惨な状況が目に見え込んできました。

T V 等の報道では主要河川付近の被災状況の映像が流れていましたが、私が点検しました場所では河川付近は勿論ですが、山間部の土砂崩れによる電柱倒壊や強風による倒木等、報道されている以外の各地で被災しておりました。

あれから 5 ヶ月が過ぎましたが未だに台風の爪痕のこっている箇所が多々ありますので今後も微力ながらも災害復旧工事に貢献していきたいと思っています。

「がんばっぺ福島！」

氏 名：佐藤 高德さん

会 社 名：大和電設工業

場 所：福島県 いわき市

作業内容：故障修理業務

感 想：



以前、1 年ほど配属されていたいわきにこのような形で行くことになるとは想像もしていませんでした。また、現場作業で訪れた場所、記憶に残っている光景が河川の氾濫によって変わってしまった所を目にした時は言葉を失いました。

復旧作業は主に水没し使えなくなった ONU の交換や故障修理業務でした。

ONU 交換の依頼が多いという話を事前に聞いてはいましたが現地で件数を聞いたときは予想をはるかに超える数で、今回の被害の大きさを実感させられました。

いわきでの業務経験があったため、土地勘があったことは幸いでしたが、土砂崩れなどで通行止めになっていたりと思うように作業が進まない時もありました。

それでも現地の方々のお話を聞いていく中で、少しでも力になればと思いながら作業を続けました。

もう今回のようなことは起きないように祈るばかりですが、万が一起きてしまったときは今回の経験を活かししていければと思います。